

2018年(平成30年)5月16日

輸送動向について(平成30年4月分)

1. 輸送概況

今月は、運休を伴う大きな輸送障害もなく、安定した輸送となった(前年は、高速貨40本が運休)。

コンテナでは、積合せ貨物がトラックドライバー不足に伴い、東海・九州地区間をはじめとした中長距離帯で荷動きが好調であったほか、自動車部品は大手自動車メーカーの販売台数が堅調に推移していることから順調な輸送となった。エコ関連物資は北海道内発着の建設発生土および関東発の焼却灰が増送となったことから、前年を上回った。

一方、紙・パルプは新聞紙・コート紙の国内需要が低迷していることから、輸送量が大きく落ち込んだ。また、農産品・青果物は北海道産や新潟産などの民間流通米輸送が低調となったことにより前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比99.6%となった。

車扱は、気温が前年より高く推移し、灯油および重油の需要が落ち込んだことから、前年を下回った。車扱全体では前年比99.5%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,943	1,951	99.6%
車 扱	659	662	99.5%
合 計	2,602	2,613	99.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	154	159	-5	97.1%
	化学工業品	181	183	-2	98.7%
	化学薬品	125	127	-2	98.4%
	食料工業品	357	355	2	100.6%
	紙・パルプ	245	257	-12	95.3%
	他工業品	132	135	-3	98.1%
	積合せ貨物	249	240	9	103.4%
	自動車部品	77	71	6	109.3%
	家電・情報機器	36	36	0	100.2%
	エコ関連物資	36	32	4	112.4%
	その他	350	355	-5	98.6%
	コンテナ計	1,943	1,951	-8	99.6%
車 扱	石油	422	439	-17	96.1%
	セメント・石灰石	108	103	5	104.6%
	車 両	64	65	-1	98.4%
	その他	65	55	10	118.3%
	車 扱 計	659	662	-3	99.5%
合 計		2,602	2,613	-11	99.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)